

「三田市新ごみ処理施設整備基本計画(案)」の修正事項

頁	修正内容
P1	<p>修正前</p> <p>三田市クリーンセンターにおいても平成 21 年から 23 年(2009 年から 2011 年)にかけて大規模修繕を行っており、適切な維持管理を行うことで、当面の間は安定的な施設稼働ができるものと見込んでおりますが、設備機器等の経年劣化が進み施設の更新が必要となっています。</p> <p>修正後</p> <p>三田市クリーンセンターにおいても平成 21 年から 23 年(2009 年から 2011 年)にかけて大規模修繕 <u>(燃焼室、火格子、ガス冷却室、ごみクレーンなど) を行いました。適切な維持管理により、少なくとも令和 9 年(2027 年)頃までは</u>安定的な施設稼働ができるものと見込んでおりますが、設備機器等の経年劣化が進み施設の更新が必要となっています。</p>

P4	<p>修正前</p> <p>ごみ処理施設は、本市から排出される一般廃棄物（ごみ）処理の全てを担う施設であることから、施設の不具合等によりごみ処理に支障が生じれば、生活環境及び公衆衛生に重大な影響を及ぼすこととなります。加えて大規模な災害時には瓦礫等の廃棄物が大量に発生することも想定され、処理が滞ることにより円滑な復旧、復興の妨げとなります。</p> <p>また、衛生的な住環境を維持し、ごみの発生抑制、再使用、再資源化を推進し、循環型社会の構築を目指すためには、市民一人ひとりがごみ処理、エネルギー利用、環境問題への関心を高め、具体的な行動に取り組むことが必要です。</p> <p>新施設は、市民生活に直結したごみ処理施設として長期にわたり安定して安全な稼働ができることに加え、強靱で安全性の高い災害に強い施設とします。</p> <p>また、災害時の防災拠点としての機能の具備を検討し、市民から頼られる施設を目指します。</p> <p>更に、ごみ問題、環境問題に対する市民意識の高揚に寄与することを目的に、環境教育・環境学習としての機能の併設を検討し、周辺の里山景観にも調和した市民に親しまれる施設とします。</p> <p>修正後</p> <p><u>ごみ処理施設は、本市から排出される一般廃棄物（ごみ）処理の全てを担う施設であり、施設の不具合や大規模な災害等により、ごみ処理に支障が生じれば、生活環境や公衆衛生に重大な影響を及ぼすとともに、円滑な復旧、復興の妨げにもなります。</u></p> <p><u>新施設は、市民生活に直結したごみ処理施設として長期にわたり安定して稼働し、強靱で安全性が高く、災害時や非常時の活動を支援する拠点としての機能も具備した市民から頼られる施設を目指します。</u></p> <p><u>また、ごみの発生抑制、再使用、再資源化を推進し、循環型社会の構築に向けて、市民一人ひとりがごみ処理、エネルギー利用、環境問題への関心を高める取り組みが必要です。</u></p> <p><u>そのため新施設は、これらの啓発に寄与する情報発信や環境教育・環境学習の機能を併設するとともに、周辺の里山景観にも調和した市民に親しまれる施設を目指します。</u></p>
P7	<p>修正前</p> <p>② 燃料</p> <p>ごみ処理施設の立ち上げ下げ、助燃、再燃、非常用発電機等の燃料として主流となっている灯油とします。</p> <p>修正後</p> <p>② 燃料</p> <p>ごみ処理施設の立ち上げ下げ、助燃、再燃、非常用発電機等の燃料として主流となっている灯油とします。<u>ただし、温室効果ガス削減に向け費用対効果も含めより優位性の高い燃料が今後開発された場合、その採用についても検討します。</u></p>

P18

修正前

■施設規模算定式（平成15年12月15日付環境廃棄対策発第031215002号）

$$\frac{(\text{計画日平均排出量} \times \text{計画収集人口} + \text{直接搬入量})}{\text{実稼働率} \div \text{調整稼働率}}$$

$$= \frac{\text{処理対象量(1日あたり)}}{\text{実稼働率} \div \text{調整稼働率}}$$

※計画日平均排出量 = 1人1日あたり処理量目標（計画一人一日平均排出量）

計画収集人口 = 人口推計

実稼働率 = (365日 - 年間停止日数) ÷ 365日 ※年間停止日数は85日とする

調整稼働率 = 0.96 ※故障・一時休止・能力低下による係数

修正後

■施設規模算定式（平成15年12月15日付環境廃棄対策発第031215002号）

$$\frac{(\text{計画日平均排出量} \times \text{計画収集人口} + \text{直接搬入量})}{\text{実稼働率} \div \text{調整稼働率}}$$

$$= \frac{\text{処理対象量(1日あたり)}}{\text{実稼働率} \div \text{調整稼働率}}$$

※計画日平均排出量 = 1人1日あたり処理量目標（計画一人一日平均排出量）

計画収集人口 = 人口推計

実稼働率 = (365日 - 年間停止日数) ÷ 365日 ~~※年間停止日数は85日とする~~

調整稼働率 = 0.96 ※故障・一時休止・能力低下による係数

P18

修正前

表 焼却施設の規模（見込値）

		規模	備考
1	焼却施設	120t/日	※主灰・飛灰は、大阪湾広域臨海環境整備センター（フェニックス）埋立を前提とします。

修正後

表 焼却施設の規模（見込値）

		規模	備考
1	焼却施設	120t/日	※主灰・飛灰は、大阪湾広域臨海環境整備センター（フェニックス）埋立を前提とします。

$$\text{施設規模} = \frac{\text{処理対象量(1日あたり)}}{\text{実稼働率} \div \text{調整稼働率}}$$

$$= \frac{88 \text{ t/日}}{0.767 \div 0.96}$$

$$\div 120 \text{ t/日}$$

$$\text{※処理対象量(1日あたり)} = \frac{32,131 \text{ t}}{365 \text{ 日}} \div 88 \text{ t/日}$$

$$\text{※実稼働率} = \frac{(365 \text{ 日} - \text{年間停止日数})}{365 \text{ 日}} \quad \text{※年間停止日数は85日とする}$$

$$= \frac{(365 \text{ 日} - 85 \text{ 日})}{365 \text{ 日}} = 0.767$$

P21	修正前	<p>■施設規模算定式（平成4年2月7日付衛環第46号）</p> $\frac{(\text{計画日平均排出量} \times \text{計画収集人口} + \text{直接搬入量}) \times \text{計画月最大変動係数}}{\text{稼働率}}$ $= \frac{\text{処理対象量(1日あたり)} \times \text{計画月最大変動係数}}{\text{稼働率}}$ <p>※計画日平均排出量 = 1人1日あたり処理量目標（計画一人一日平均排出量） 計画収集人口 = 人口推計 計画月最大変動係数 = ごみ種別に、過去5年間以上の収集量の実績を基礎として求める 稼働率 = (365日 - 年間停止日数) ÷ 365日 ※年間停止日数は115日とする</p>										
	修正後	<p>■施設規模算定式（平成4年2月7日付衛環第46号）</p> $\frac{(\text{計画日平均排出量} \times \text{計画収集人口} + \text{直接搬入量}) \times \text{計画月最大変動係数}}{\text{実稼働率}}$ $= \frac{\text{処理対象量(1日あたり)} \times \text{計画月最大変動係数}}{\text{実稼働率}}$ <p>※計画日平均排出量 = 1人1日あたり処理量目標（計画一人一日平均排出量） 計画収集人口 = 人口推計 計画月最大変動係数 = ごみ種別に、過去5年間以上の収集量の実績を基礎として求める 実稼働率 = (365日 - 年間停止日数) ÷ 365日 ※年間停止日数は115日とする</p>										
P21	修正前	<p>表 粗大ごみ処理施設の施設規模（見込値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>規模</th> <th>破碎設備 処理能力</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>粗大ごみ処理施設</td> <td>13t/5h</td> <td>9t/5h</td> <td>※搬入物の計画月最大変動係数=1.39 ※規模の小数点以下は切上げとします。</td> </tr> </tbody> </table>			規模	破碎設備 処理能力	備考	1	粗大ごみ処理施設	13t/5h	9t/5h	※搬入物の計画月最大変動係数=1.39 ※規模の小数点以下は切上げとします。
			規模	破碎設備 処理能力	備考							
1	粗大ごみ処理施設	13t/5h	9t/5h	※搬入物の計画月最大変動係数=1.39 ※規模の小数点以下は切上げとします。								
修正後	<p>表 粗大ごみ処理施設の施設規模（見込値）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>規模</th> <th>破碎設備 処理能力</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>粗大ごみ処理施設</td> <td>13t/5h</td> <td>9t/5h</td> <td>※搬入物の計画月最大変動係数=1.39 ※規模の小数点以下は切上げとします。</td> </tr> </tbody> </table> <p>施設規模 = $\frac{\text{処理対象量(1日あたり 5h)} \times \text{計画月最大変動係数}}{\text{実稼働率}}$ $= \frac{6 \text{ t/日} \times 1.39}{0.685}$ $\approx 13 \text{ t/5h}$ ※処理対象量(1日あたり 5h) = $\frac{2,175 \text{ t}}{365 \text{ 日}} \approx 6 \text{ t/日}$ ※搬入物の計画月最大変動係数 = 1.39 ※実稼働率 = $\frac{(365 \text{ 日} - \text{年間停止日数})}{365 \text{ 日}}$ ※年間停止日数は115日とする $= \frac{(365 \text{ 日} - 115 \text{ 日})}{365 \text{ 日}} = 0.685$</p>			規模	破碎設備 処理能力	備考	1	粗大ごみ処理施設	13t/5h	9t/5h	※搬入物の計画月最大変動係数=1.39 ※規模の小数点以下は切上げとします。	
		規模	破碎設備 処理能力	備考								
1	粗大ごみ処理施設	13t/5h	9t/5h	※搬入物の計画月最大変動係数=1.39 ※規模の小数点以下は切上げとします。								